

令和6年1月10日

学生が制作した人形劇『わくわくシアター』を一般公開します

学生が制作した人形劇を、令和6年1月27日（土）に地域の親子に向けて一般公開します。本人形劇は10年に渡り人形劇団ひとみ座や日生劇場からの支援を受け上演をしてきましたが、コロナ禍で一般公開ができなかったため、4年ぶりの一般公開となります。

プロからの指導を受け、将来保育者をめざす学生達が作り上げた人形劇です。是非ご覧ください。

東日本大震災後、東京日比谷の日生劇場により、子ども達の心のケアの一助として被災地各所で子ども向けコンサートや人形劇の公演が行われてきました。この公演形式に加え、平成26（2014）年度から現地活動支援型公演の支援が始まりました。これは、現地の団体や、日頃子どもに接している保育者たちに、プロが持つ制作・上演のノウハウを教授することで、人形劇の上演スキルを普及・向上させ、より多くの子ども達に人形劇に触れてもらおうという企画です。

福島大学では、卒業生の山下潤子さんが人形劇団ひとみ座に在籍するご縁もあり、日生劇場と人形劇団ひとみ座のご支援を受けることができました。この支援活動開始当初より、人間発達文化学類の保育者志望の学生たちが受講する「総合表現（劇）」の授業において、この企画を具体化させていただいているところです。

支援も今年度で10年目となりました。これまでの公演はおかげさまで好評をいただき、学生達も日頃の授業だけでは得ることのできない力をつけることができたと自負しています。残念ながら、コロナ禍での過去3回の公演は一般公開をひかえました。しかし、本番の力、子どもたちの反応は何にも代えがたい経験ですので、附属幼稚園の協力を得て保育時間の中で上演をし、学生たちに手ごたえを感じてもらいました。

今年度は4年ぶりの一般公開を目指して、昨年10月以降の授業の中で、ひとみ座や日生劇場の方々のご指導を受けながら、学生たちは頑張って人形劇を制作しております。これまでの一般公開の上演を知る者がほぼいなくなった状況で準備をすすめているところですが、我々教員も学生の若い力を信じて頑張っているところです。

このような人形劇ですが、地域の子供達や保護者のみなさま、保育や人形劇にかかわっていらっしゃる方々に届けるため一般公開したいと存じます。

公開は以下の通りです。一人でも多くの方にご覧いただけると幸いです。

日 時：令和6年1月27日（土）13：30～15：00（開場 13:00）
会 場：福島大学附属幼稚園（福島市浜田町 12-39）
プログラム：1「わらしべちょうじゃ」（学生による人形劇）
 2「ヘンゼルとグレーテル」（学生による人形劇）
そ の 他：入場無料（定員 70 名）
 駐車場はありません。
 徒歩または公共交通機関でお越しください。

（お問い合わせ先）
人間発達文化学類・教授 原野明子
（人間発達文化学類・特任教授 齋藤美智子）
電 話：024-548-8116
メー ル：harano@educ.fukushima-u.ac.jp

福島大学幼児教育コース × 日生劇場 × 劇団ひとみ座

わくわくシアター

～人形劇～

わらしべ長者 ちようじゃ

わらをいっぽんてにもって！
うんだめしのたびに
さあしゅっぽつ！！

1月27日(土)

福島大学附属幼稚園
遊戯室

開場13:00 開演13:30

ヘンゼルと
グレーテル

もりでふたりがたどりつい
たのは、あかしのいえ！？
ふたりはかえられるかな？



乳幼児～小学生のお子様と保護者のみなさまにご覧いただけます

無料



会場

福島大学附属幼稚園 福島市浜田町12-39

徒歩：福島駅東口より約25分

バス：福島交通福島駅東口のりば 2・3ポール
伊達・藤田・保原方面行き（競馬場行き）乗車約8分
「東高校前」または「市役所入り口」下車 徒歩6分



駐車場



お車の場合は近隣のコインパーキング等をお使いください（ヨークベニマル等にはとめないでください）。
できるだけ公共交通機関でお越し下さい。
ご協力よろしくお祈いします。

ふくしまだいがくのがくせいによる
てづくりのにんぎょうをつかったにんぎょうげきです！

たのしいよ！みにきてね！！



お問い合わせ 福島大学人間発達文化学類
原野 TEL/FAX 024-548-8116（研究室直通）

本公演の開催にあたり、日生劇場および人形劇団ひとみ座の支援を受けております。